その他関連製品

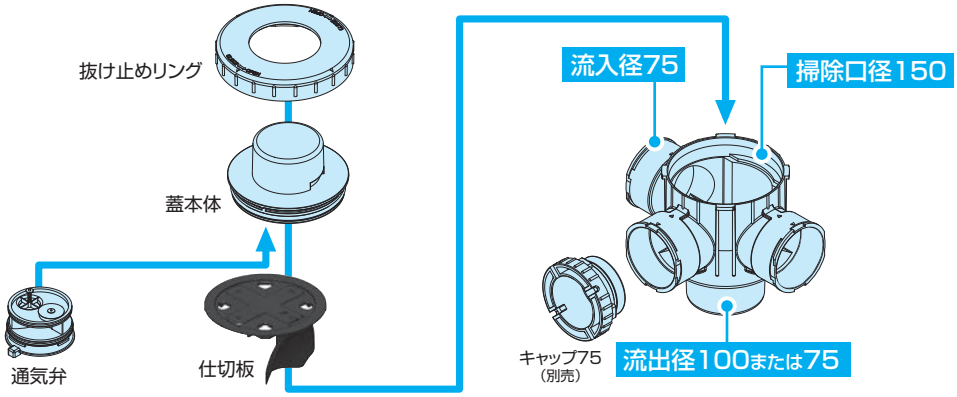
目　次

Ⅰ. 低層住宅用関連製品…… 177
1. KCユカマスSの特長…… 177
2. KCユカマスSの品揃え…… 178
3. KCユカマスSの施工事例…… 179
4. KCユカマスSの設計上の注意点…… 180
5. KCユカマスSの施工方法…… 181
6. KC貫通パックの特長…… 184
7. KC貫通パックの品揃え…… 185
8. KC貫通パックの施工事例…… 185
9. KC貫通パックの施工方法…… 186
10. 給水用貫通スリーブ…… 187
11. 宅地ます関連製品の品揃え…… 189
12. 使用上の注意事項…… 191

Ⅱ. 貯水機能付防災ヘッダー『貯めてるゾー』…… 192
1. 製品仕様…… 192
2. 別売品…… 193
3. 設計上の注意事項…… 193
4. 使用上の注意事項…… 194

1. KCユカマスSの特長

KCユカマスSの構造

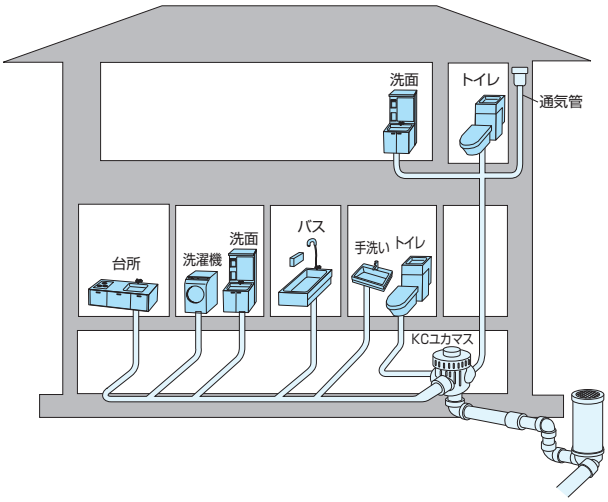


1. 1　安心の排水性能

既存継手のみで床下合流した配管では、排水器具の同時使用時に排水管内の圧力が変動し、室内衛生性を守っている封水トラップを破封します。ユカマスは、正圧抑制のために排水を滞留させない形状に設計、負圧抑制のために通気弁を内蔵しました。評価施設において、その排水性能を確認しています。

❶一世帯分の排水(雑排水5器具+汚水2器具)を合流可能です。

・P.180「KCユカマスS流出径100と流出径75の配管について」に記載の基礎貫通部の場合です。
・雑排水にトイレ手洗いは含みません。

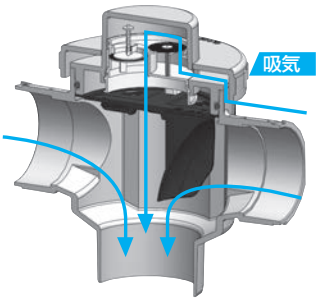


❷逆流防止機能付通気弁※の内蔵により下流側の配管に関わらず、破封を防ぎます。

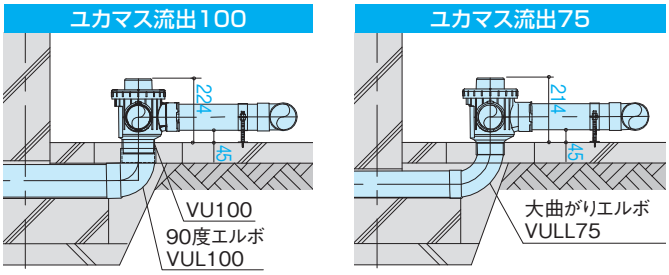
※(財)日本建築センターの評定書
「排水合流継手KCユカマスに内蔵する通気弁ユニット」取得。

BCJ評定HS0004-02

※本評定は旧タイプのユカマスで取得したものですが、KCユカマスSに内蔵する通気弁ユニットは評定取得時と同等です。

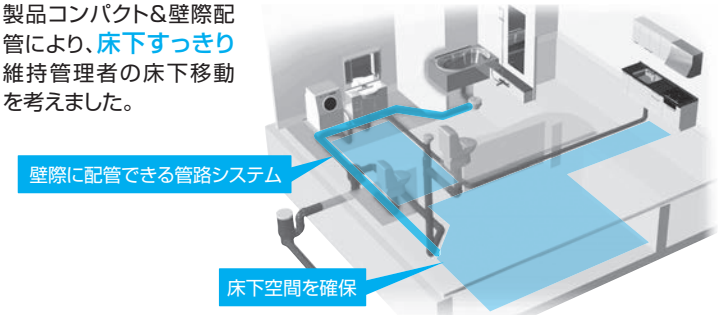


❸流入管の接続高さが低く、勾配の確保が容易です。



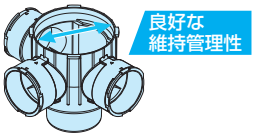
1. 2　優れた維持管理性

❹製品コンパクト&壁際配管により、床下すっきり維持管理者の床下移動を考えました。



❺掃除口径150を採用。良好な維持管理性を実現しました。

・通常は排水器具より維持管理具を挿入します。

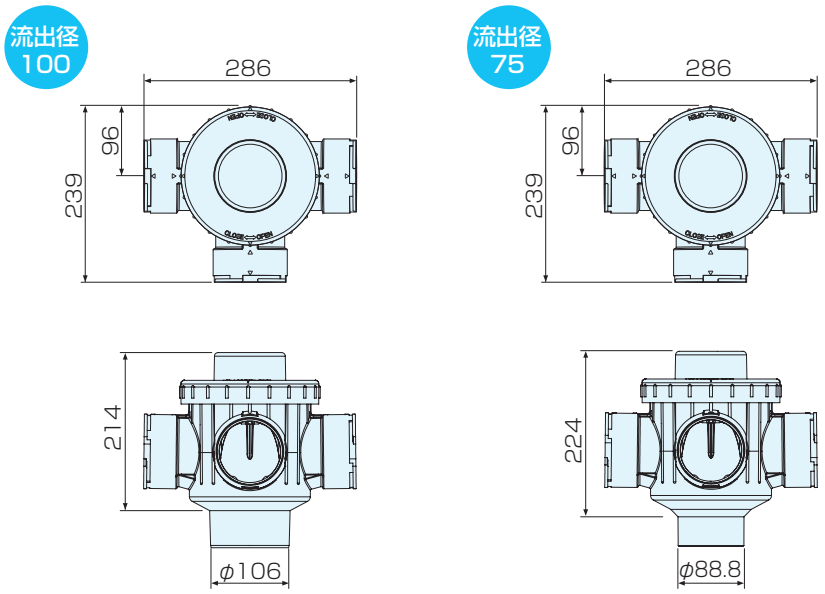


1. 3　超節水トイレ対応

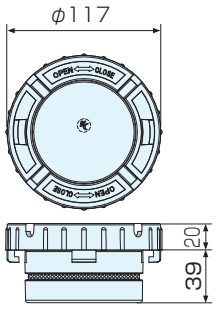
トイレの超節水化に対応、仕切板の形状を変更しました。
運用についてはP.183をご覧ください。

2. KCユカマスSの品揃え

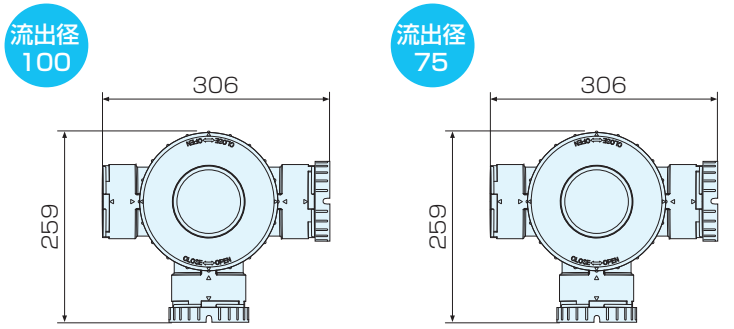
KCユカマスS　品番5425



キャップ（別売）　品番5425



キャップ使用時寸法

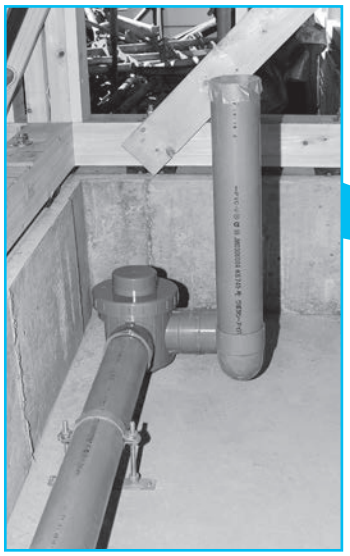


（追加用）仕切り（別売）　品番5425

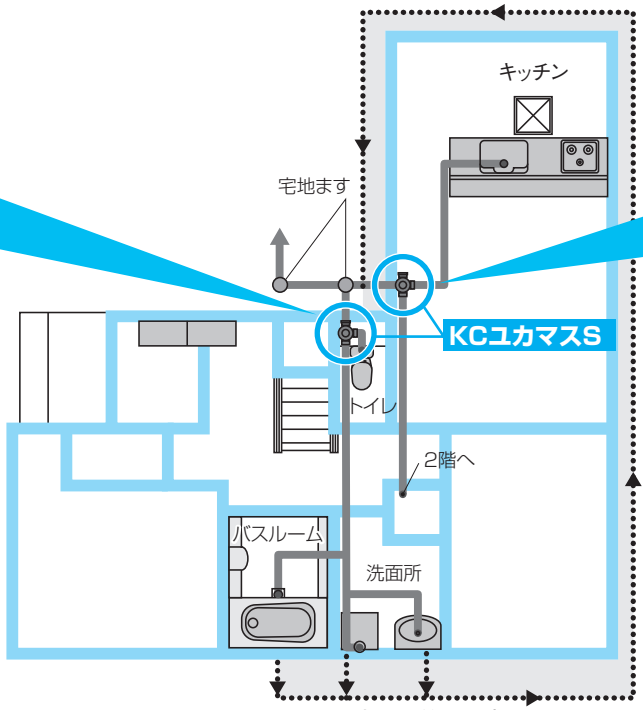
3. KCユカマスSの施工事例

KCユカマスSを使用し、外構配管を削減した配管例

外構配管の大幅削減



1階のバス、洗面、洗濯機の雑排水とトイレの汚水を集水

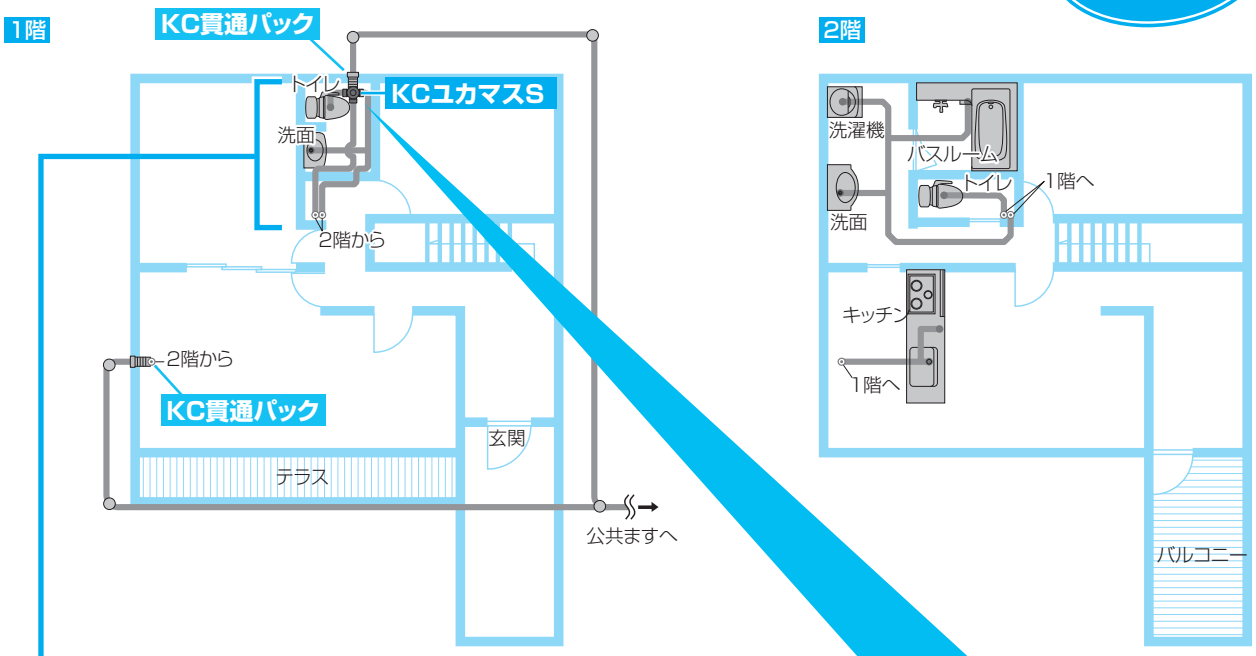


在来配管の場合

2階のトイレの汚水とキッチンの雑排水を集水

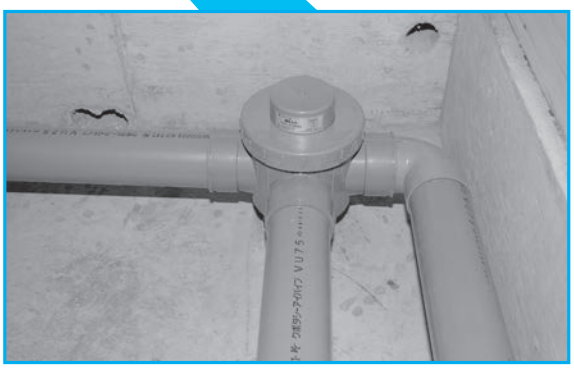
長期優良住宅仕様の住宅で、KCユカマスSと貫通パックを使用した配管例

基礎強度の確保＋更新可能



基礎貫通部を減らし、基礎強度を確保

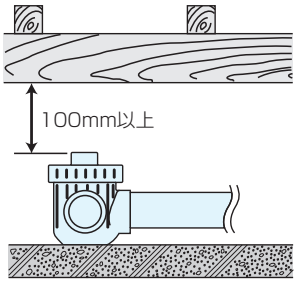
1階部分の排水管全景



キッチン以外の1階、2階の汚水・雑排水を1階床下で集水

4. KCユカマスSの設計上の注意点

4. 1　使用可否の確認



(!) 計画物件の管轄事業体において、排水合流継手の許認可、使用条件をご確認ください。

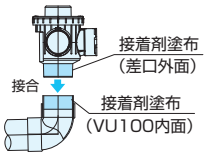
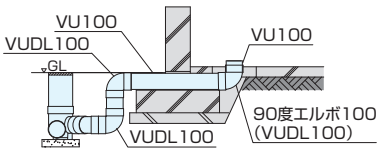
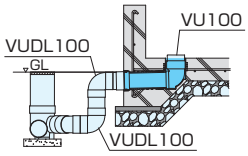
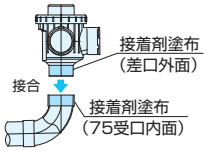
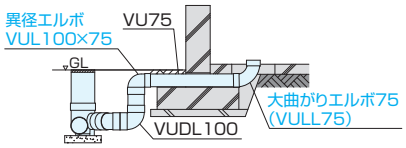
(!) 維持管理上、以下の点をお守りください。

- ●維持管理者が床下に入れるように床下点検口を設置してください。
- ●"KCユカマスS"上部の空間を100mm以上確保してください。(右図参照)

⃠ 屋外での露出配管および埋設配管には使用できません。

(!) 床下には空気の流入が行われるよう通気口等を設けてください。

4. 2　KCユカマスS流出径100と流出径75の配管について

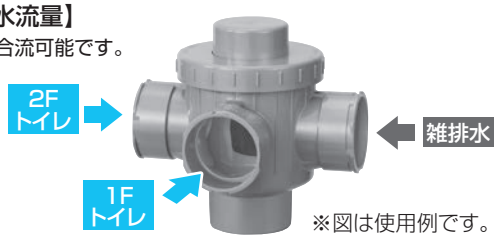
	接合	基礎貫通部	
		実管による配管	貫通パックによる配管
KCユカマスS 流出径100			
KCユカマスS 流出径75			合流可能な排水流量 トイレ1基 + 排水90L/min (一世帯分の排水を合流することはできません。)

4. 3　配管上のルール

【合流可能な排水流量】

一世帯分の排水を合流可能です。

※一世帯分の排水とは、トイレ手洗いを除く雑排水5器具(合計131L/min以下)とトイレ2つです。



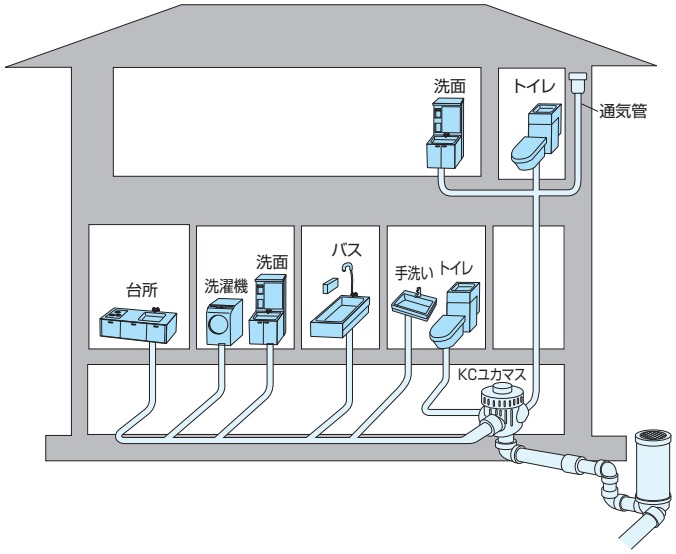
※図は使用例です。

【標準配管】

KCユカマスSは1F床下に設置します。
1F汚水(トイレ排水)と雑排水は配管で合流させずに、KCユカマスSで合流させます。

- ·通気管を設置する2F、3Fトイレは、洗面またはトイレ手洗いを合流できますが、1Fトイレは、トイレ手洗いを合流させずに、KCユカマスSに単独で接続します。
- ·雑排水はVU-DV継手により合流後、KCユカマスSに接合します。
- ·一口に合流可能な雑排水は131L/分以下です。
- ·2Fトイレまたは3Fトイレ配管を接続する場合はKCユカマスS内部の仕切板を一旦取り外し、仕切りの位置を流入方向に合わせてください。詳細はP.183の5.6仕切板の設置をご参照ください。
- ·曲部継手は、掃流性を考慮して45LまたはLLのご使用を推奨いたします。
- ·雑排水の合流継手には、45YまたはLTのご使用を推奨いたします。

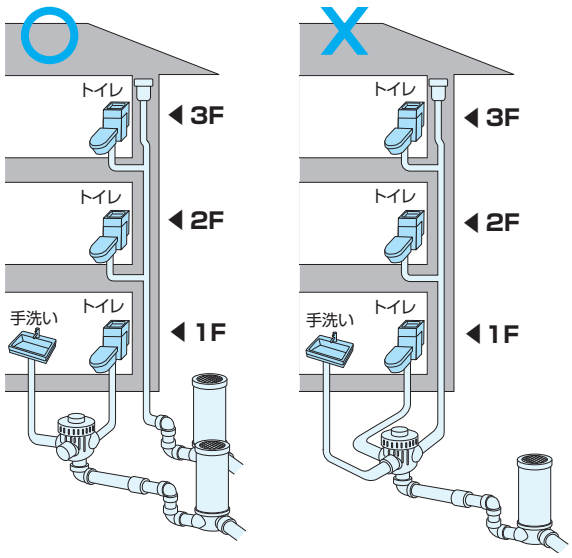
※排水器具側でトラップを設置しない場合は、単独配管でトラップマスを使用するなど、別途、衛生対策をご検討ください。



⃠【禁止配管】

2F汚水と3F汚水を合流した場合は、KCユカマスSにつなぐことはできません。

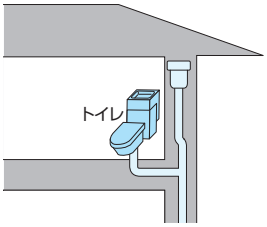
※KCユカマスSにつないだ場合、同時排水時にトラップの封水がはね出す可能性があります。



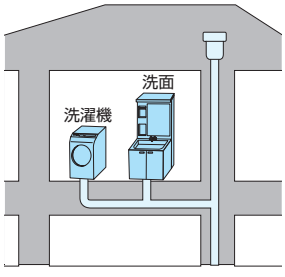
⚠【通気管の設置】

2F、3Fの排水については、騒音の発生や誘導サイホンによる破封を防ぐために通気管または通気弁が必要です。

2F、3Fにトイレを設置するケース



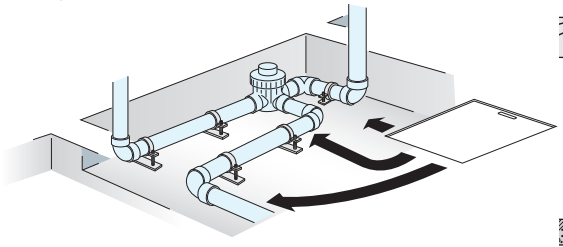
2F、3Fで雑排水2器具以上を合流するケース



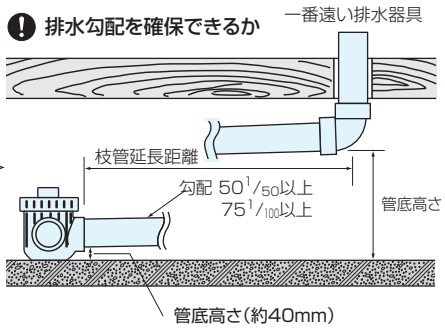
4. 4　配管設計

【KCユカマスSの配置】 外構配管、排水器具、床下点検口の位置からKCユカマスSの設置位置を決定します。設置位置の決定に際しては、以下の点をご確認ください。

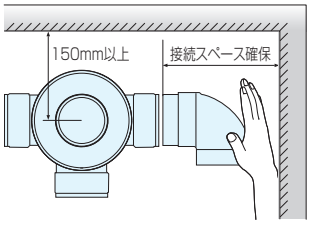
床下の維持管理が可能か



排水勾配を確保できるか



基礎壁に接触しないか
排水枝管の接続は可能か



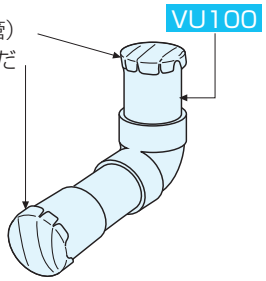
【スリーブの配置】 基礎貫通部の実管スリーブ位置を決定します。※基礎貫通配管の更新性が必要な場合はクボタケミックス製"貫通パッグ"をご使用ください。
基礎間仕切り壁のスリーブ位置を決定します。

5. KCユカマスの施工方法

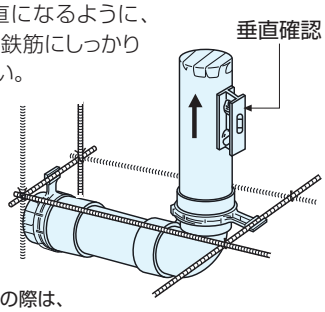
5. 1　基礎貫通部排水管の設置

KCユカマスS流出径100の場合

❶ 実管スリーブ(排水管)の両端を養生してください。



❷ 立上り管が垂直になるように、実管スリーブを鉄筋にしっかり固定してください。



※貫通パックをご使用の際は、
P.184をご覧ください。

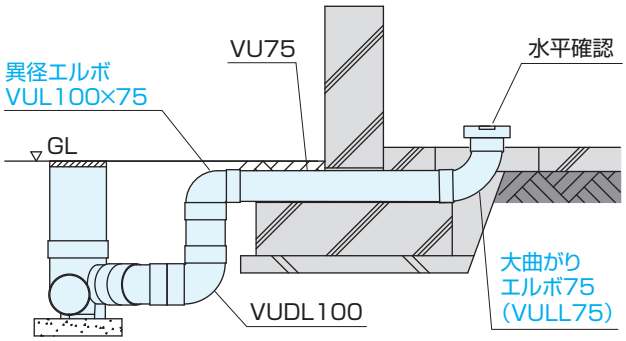
❗ コンクリートの打設時に立上り管が傾くとKCユカマスSの水平が取れません。
実管スリーブが移動しないようコンクリートを打設してください。

⚠ 実管スリーブは、必ずクボタケミックス製VU100を使用してください。VU100には、KCユカマスSは接合できません。

KCユカマスS流出径75の場合

❶ 実管スリーブ(排水管)の両端を養生してください。

❷ VULL75の上面が水平となるよう、実管スリーブを鉄筋等にしっかり固定してください。

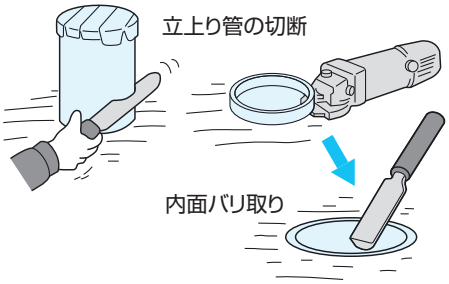


❗ KCユカマスS下流側の継手は必ずVULL75を使用し、宅地ますへの接続は、異径エルボVUL100×75　でφ100に増径してください。
深基礎の場合は、KCユカマスSの流出口にVUDS75を接合し、VU75を介してVULL75に接続してください。

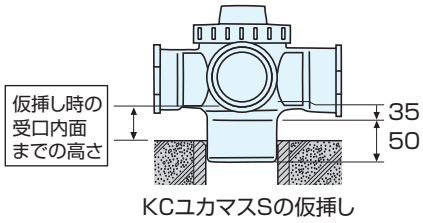
❗ コンクリート打設時にVULL75が傾くとKCユカマスSの水平が取れません。
実管スリーブが移動しないようコンクリートを打設してください。

5. 2　立上り管端部の切断･仕上げ（流出径100の場合）

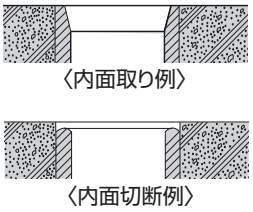
❶ 立上り管を基礎天端で管軸に対して垂直に切断･バリ取りを行ってください。



❷ KCユカマスSを仮挿しして受口内面までの高さを計ってください。

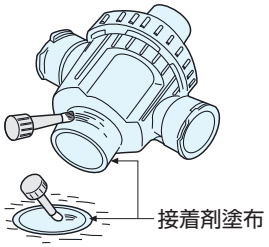


❸ 仮挿し時の受口内面までの高さが45～50mmになるようにスリーブ立上り管の内面処理を行ってください。



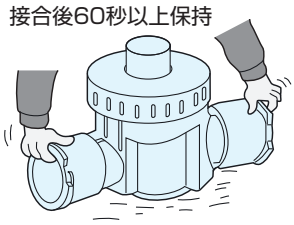
5. 3　KCユカマスSの接続

❶ 立ち上り管内面（または上流側排水継手の受口内面）とKCユカマスS流出口外面に、接着剤を塗り、もれのないように円周方向に薄く均一に塗布してください。

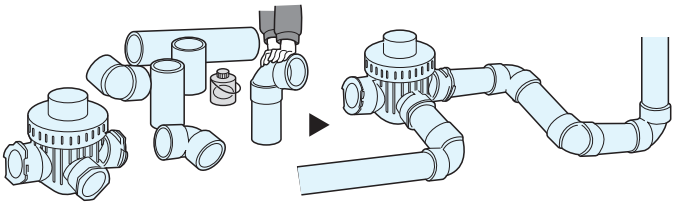


❷ KCユカマスSが水平となるように、立上り管（または上流側排水継手）に接合し、60秒以上保持してください。

⚠叩き込んで接合しないでください。



5. 4　排水枝管の接続



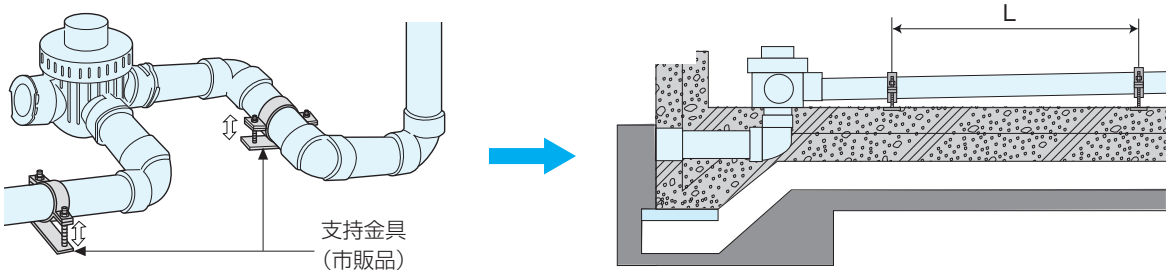
●KCユカマスSと排水枝管を接着接合してください。
●KCユカマスSに接合する管は、VU75を使用してください。
VU50を接続する場合は、75×50異径継手を使用してください。
（クボタケミックス製パイプ･継手をご使用ください）。
●排水枝管を接続しないKCユカマスS流入口は、キャップ（別売り）を取り付けてください。

5. 5　管の支持固定

●排水枝管は下表の支持間隔･勾配を目安に支持固定してください。

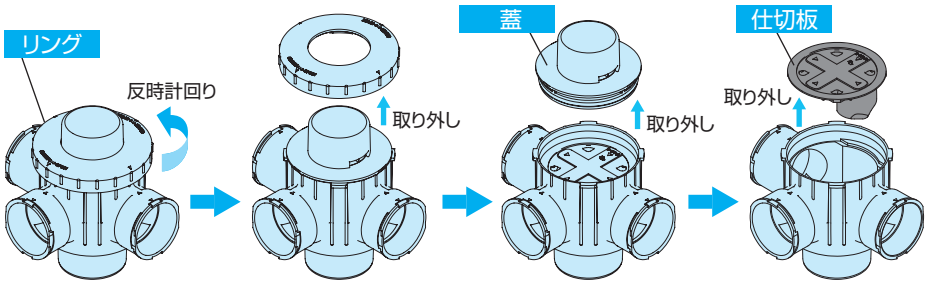
呼び径 / 支持間隔	50	75
1箇所目	KCユカマスS付近	
2箇所目（L）	1.2m以内	1.5m以内

呼び経	50	75
勾配	1/50以上	1/100以上



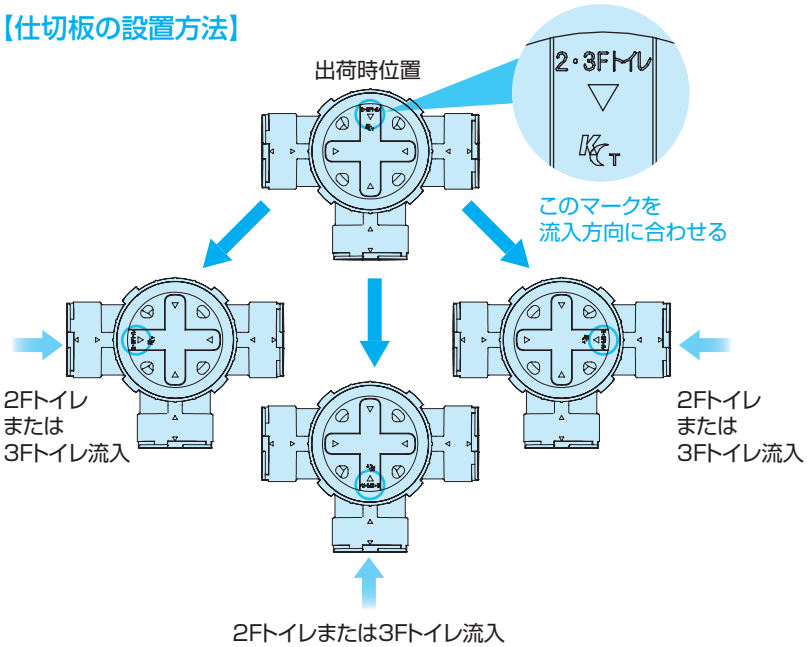
5. 6　仕切板の設置

【仕切板の取り外し方】



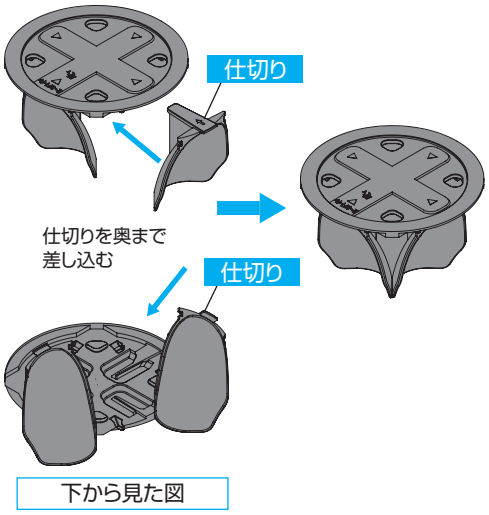
- 2Fトイレまたは3Fトイレ配管を接続する場合はKCユカマスS内部の仕切板を一旦取り外し、仕切りの位置を流入方向に合わせてください。
- 2Fトイレと3Fトイレを同時に接続する場合は仕切り（別売）を追加設置してください。
- 1Fに8Lトイレを接続する場合は、2F、3Fトイレに加えて、1Fトイレを接続する側にも仕切りを設置してください。
- 雑排水および6L以下の1Fトイレ配管の場合、仕切板の位置変更は不要です。
- リフォームの際には必ずトイレの容量を確認し、仕切りの要、不要を判断してください。

【仕切板の設置方法】



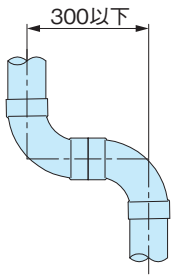
汚水が越流しますので仕切りが必要な箇所には必ず設置してください。

【仕切り（別売）の追加設置方法（例）】

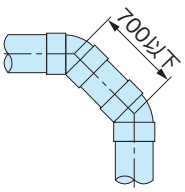


仕切板を使用しない方法

- トイレ配管の1F床下配管部分に水平曲がりを2ヶ所以上入れることで仕切板と同様の越流防止効果が得られます。
- 水平2曲がりのうち、右図の配管については1曲がりと見なしてください。

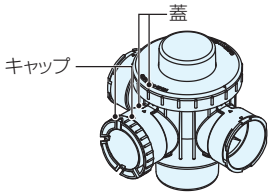


上記LLオフセットは
1曲がりと見なす



上記45L連続2曲がりは
1曲がりと見なす

蓋・キャップの確認



蓋

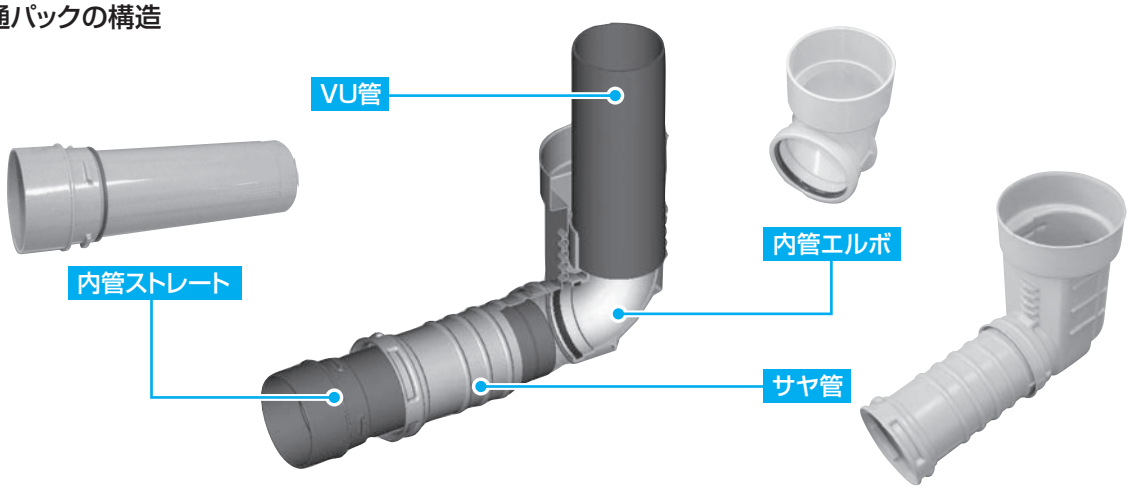
- 抜け止めリングがロックされるまで時計回りに回してください。
- ⚠KCユカマスS本体と抜け止めリングの合いマークが合っていることを確認してください。

キャップ

- Oリングのねじれ、汚れ等がないことを確認してください。
- ⓘOリング外周面全体にわたりクボタケミックス製Vスプレーを吹き付けて、キャップの爪部とKCユカマスS本体の受口切り欠き部を合わせて挿入し、時計回りに止まるまで回してください。
- ⚠本体の合いマークとキャップのU字溝の位置が合っていることを確認してください。

6. KC貫通パックの特長

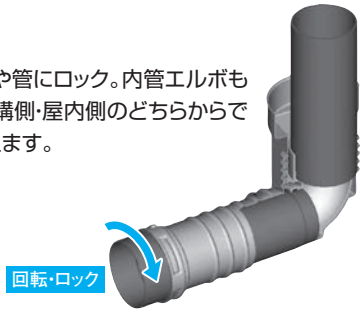
KC貫通パックの構造



6. 1　点検･更新が容易に

❶内管(内管ストレート･内管エルボ)は、ゴム輪接合のため、更新や補修による取り外しが容易です。

❷内管ストレートはさや管にロック。内管エルボも固定されるため、外構側･屋内側のどちらからでも容易に配管を行えます。



6. 2　材質は実績十分な塩ビ製

❶内管の材質は,硬質ポリ塩化ビニル製です。磨耗や維持管理ツールの使用に対して外構･屋内に使用する塩ビ管･継手と同等の耐久性があります。

内管の物性 ※材質は JIS K 6739(排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手)に準拠

項　目	数　値
引張降伏強さ	23℃における引張降伏強さが45MPa以上
ビカット軟化温度	76℃以上

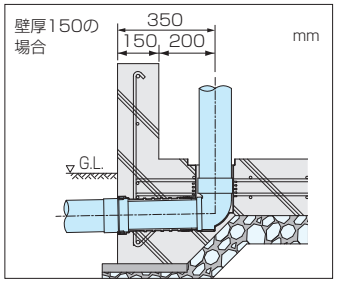
❷さや管と内管の隙間には,簡単に取り付けられる防虫リングを使用します。屋外からの虫の侵入防止と水密性に効果を発揮します。

6. 3　スムーズな流れを実現

❶内面は非常に滑らかです。スムーズな排水の流れを実現します。

❷サヤ管の曲げ角度が90°であるため、内管を壁際に垂直に立ち上げられます。

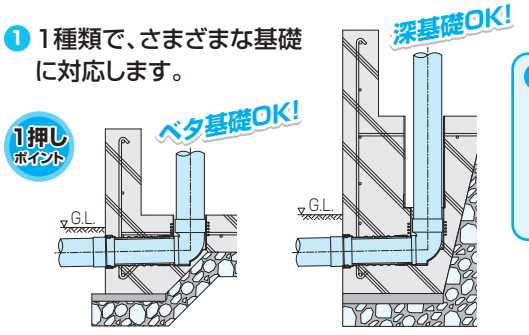
1押しポイント



6. 4　さまざまな基礎に対応可能

❶1種類で、さまざまな基礎に対応します。

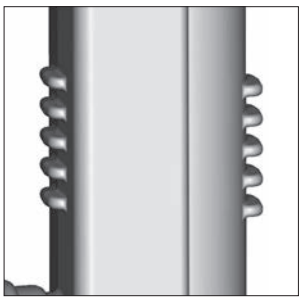
1押しポイント



深基礎で使用する場合の施工方法、注意事項については、製品に同梱の取扱説明書、または弊社までご確認ください。

❷さや管本体の固定リブで配筋へしっかり固定。勾配不具合を生じにくくします。

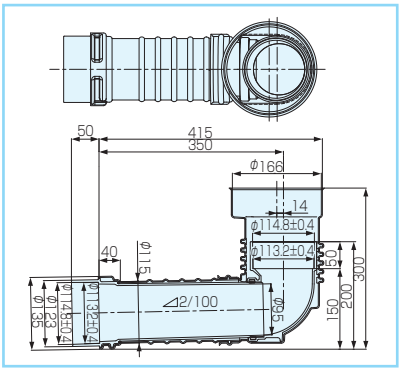
1押しポイント



7. KC貫通パックの品揃え

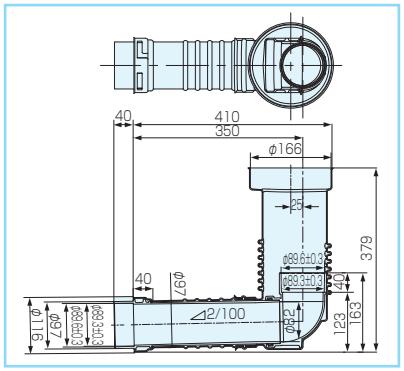
貫通パック 100　品番5427

適用排水管: VU100、VU75
（屋内側で異径継手を使い、VU100に変換）



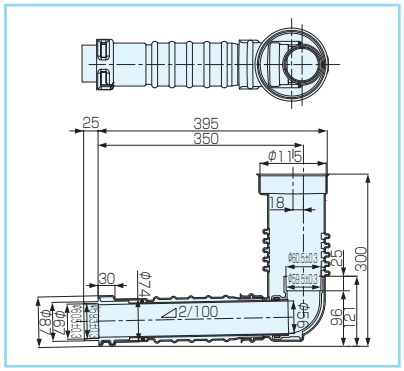
貫通パック 75　品番5427

適用排水管: VU75



貫通パック 50　品番5427

適用排水管: VU50

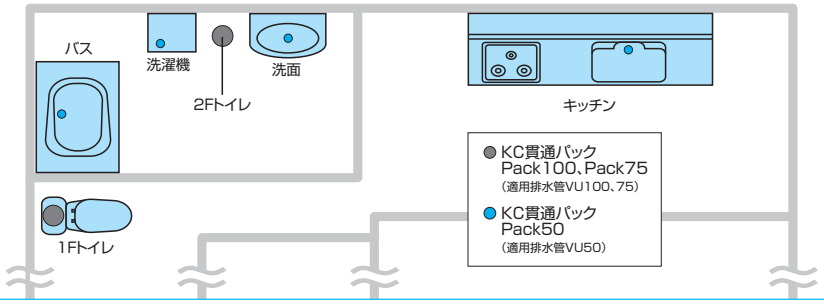


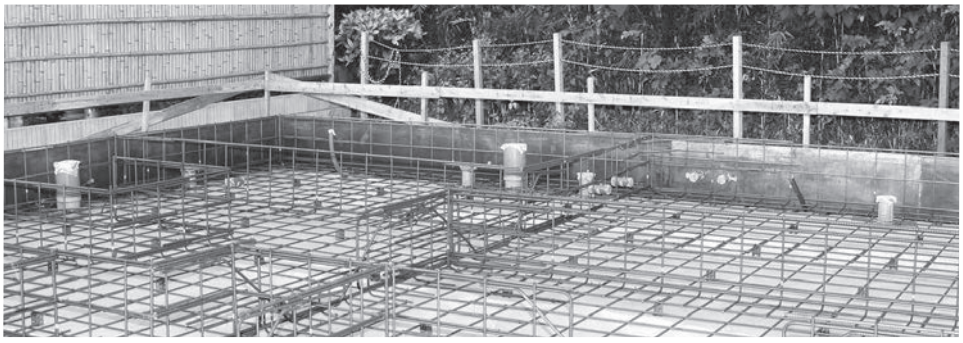
※製品についての詳細は専用カタログをご参照ください。

8. KC貫通パックの施工事例

各水周りからKC貫通パックで外構へ排水する施工例

KC貫通パックの設置図

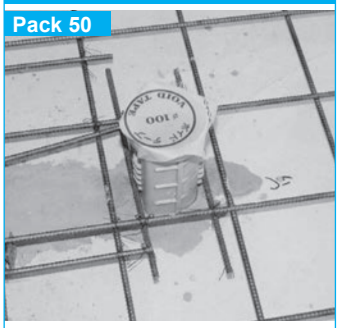




KC貫通パック設置箇所全景

KC貫通パックの施工

Pack 50



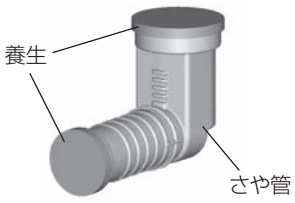
Pack 100

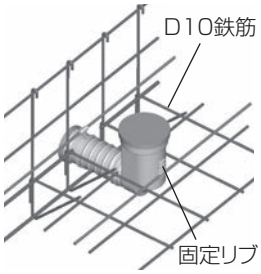
背にある固定リブでしっかり固定

9. KC貫通パックの施工方法

9. 1　さや管の位置決め

❶ さや管の管端を養生テープ等でしっかりとシールしてください。





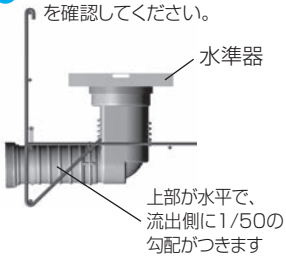
❷ 市販のスリーブ固定具やさや管の固定リブ等を利用して、しっかりと配筋に固定してください。

⚠ 配筋との離隔距離を確保してください。配筋の切断箇所は、適切に補強筋を配置してください。

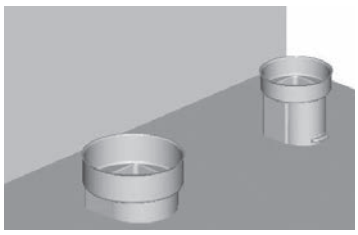
⚠ 固定リブには、D10の鉄筋を使用してください。

⚠ さや管が変形しないように固定してください。

❸ さや管の上部が水平であることを確認してください。



9. 2　コンクリートの打設

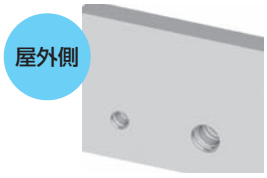


⚠ 立会いをするなど、立上りが垂直であることを確認しながら注意してコンクリートを打設してください。

⚠ さや管がつぶれたり、変形しないように、突き棒やバイブレータで周辺を充填してください。

9. 3　さや管の仕上げ

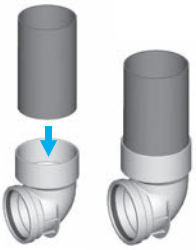
手ノコやサンダーを使用して基礎天端で突き出たさや管を切断してください。



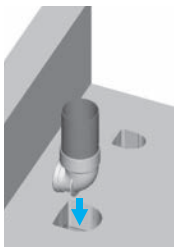
さや管の内面が完全に現れるまでコンクリートを取り除いてください。

9. 4　立ち上り用調整管の接続

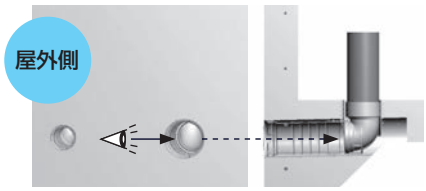
❶ 長さ調節したVU管の外面と内管エルボの受口内面に接着剤を薄く、塗りムラや塗り洩れのないように円周方向に均一に塗布し、接着接合してください。
（VU管、接着剤は弊社製品をご使用ください）



❷ さや管の中に内管エルボをゆっくりと下まで挿入してください。



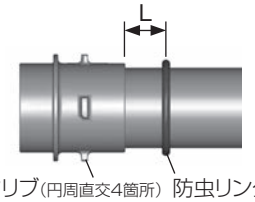
❸ 屋外側からさや管内部を覗き、内管エルボのゴム輪が全周にわたり見えることを確認してください。



9. 5　内管（内管ストレートと内管エルボ）の接続

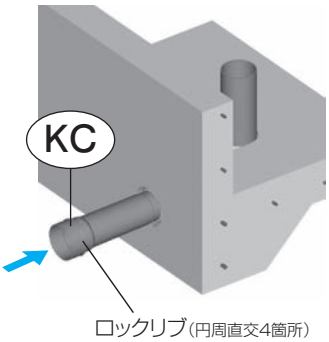
❶ 内管ストレートの防虫リングを標線位置にセットしてください。

⚠ サイズによりセット位置が異なります。標線位置Lについては、製品に同梱の取扱説明書をご確認ください。



⃠ 内管エルボのゴムは自己潤滑ゴムです。内管ストレート挿入部には滑剤（Vソープ）を塗らないでください。

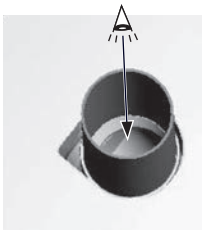
❷ 内管ストレートを、KCマークを真上に向け、ゆっくりさや管内にロックリブが当たらないように挿入してください。



❸ 最後まで押し込まれた位置で、内管ストレートを時計回りに止まるまで（約45°）回してください。

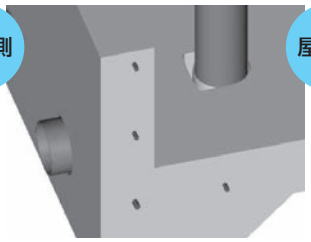
⚠ ゴム輪の転びや防虫リングがかみ込むと挿入が非常に固く、スムーズに回転しません。
一度、引抜き、ゴムの状態を確認し、挿入してください。

❹ 立上げ部から内面を覗き内管ストレートが、内管エルボに挿入されていることを確認してください。



内管ストレート: グレー色
内管エルボ: アイボリー色

9. 6　仕 上 げ



さや管と内管の隙間をコーキング材で充填し、仕上げてください。

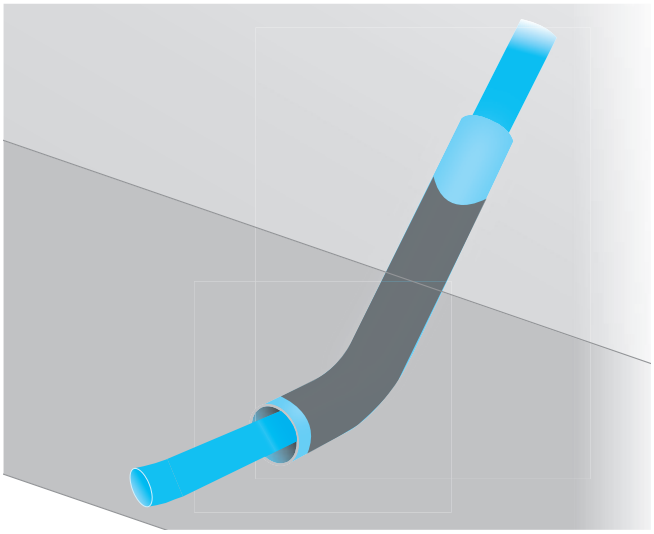
さや管と内管の隙間には、必要に応じて市販のバックアップ材などを充填し、コーキング材で仕上げてください。

安全にご使用いただくための注意事項

- ❗ 本製品は、製品同梱の取扱注意・施工要項を熟読の上、ご使用ください。
- ❗ 本製品は住宅メーカーとの協議の上で、設計・施工を行ってください。
- ❗ 内管単体では使用できません。必ずさや管と組み合わせてご使用ください。
- ⃠ さや管の中にゴミを入れないでください。内管の挿入や接続が適切に行えません。
- ⚠ 怪我の恐れがありますので、内管ストレートの挿入の際には、指などが挟まれないように注意してください。
  また、更新や補修で内管ストレートを引抜く際には、急激に力を加えず、ゆっくり引抜き、転倒しないように注意してください。
- ⚠ コーキング材には、硬質ポリ塩化ビニル管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤（フタル酸エステル、DOPなど）や有機溶剤（キシレン、トルエンなど）を含むもの（ポリウレタン系シーリング材など）がありますので、成分をご確認の上ご使用ください。

10. 給水用貫通スリーブ

10. 1　給水用貫通スリーブの特長

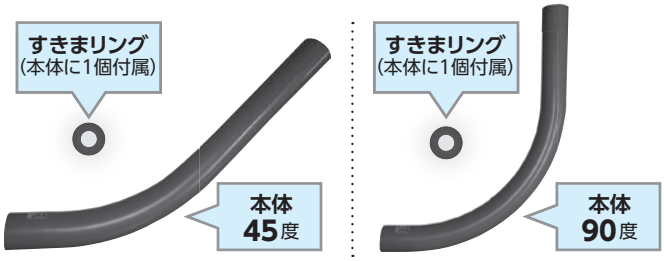


- **大きな曲げ半径**
  本体の曲がり部の半径は、適用する管の最小曲げ半径よりも大きくなっています。
- **複数管種に適用**
  ポリブテン管(PB)・架橋ポリエチレン管(PEX)、呼び径16・20に対応します。(保護材厚さ10㎜まで)
- **延長可能**
  スリーブの長さを延長する場合は、室内側にVUソケットでVUパイプ(呼び径50)を接続することで対応できます。
- **シンプルな構成**
  本体と隙間リング(本体に付属)の2つの部品で構成されています。
- **軽量**
  軽くて施工性に優れています。(参考質量45度:345g、90度:415g)

10. 2　給水用貫通スリーブの種類と適用管種

(製品)給水用貫通スリーブ		挿通する管		
種　類	曲げ角度	種　類	呼び径	保護材厚さ
WKS 45L50-A	45度	・ポリブテン管(PB) ・架橋ポリエチレン管(PEX)	16 20	5～10mm
WKS 45L50-B				0～3mm
WKS 90L50-A	90度			5～10mm
WKS 90L50-B				0～3mm

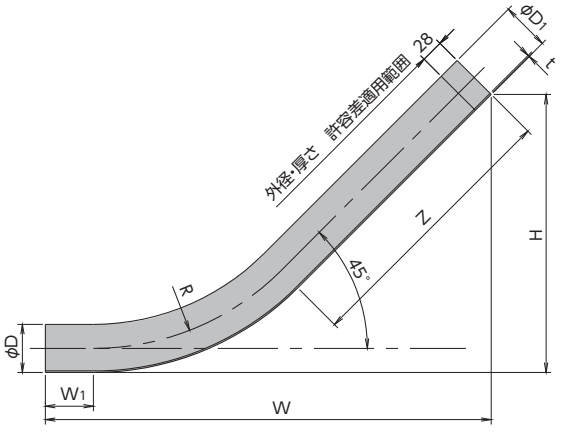
10. 3　給水用貫通スリーブの構成



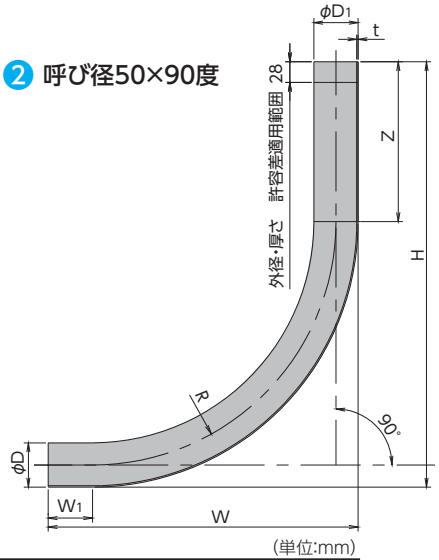
10. 4　給水用貫通スリーブの外形・寸法

1. 本　体

❶ 呼び径50×45度



❷ 呼び径50×90度

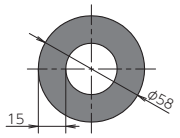


(単位:mm)

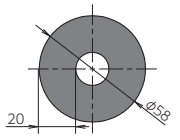
	D	D1	W	W1	H	Z	R	t
45度	60	60±0.2	555	60	346	340	330	$1.8^{+0.4}_{0}$
90度	60	60±0.2	420	60	577	215	330	$1.8^{+0.4}_{0}$

2. すきまリング

❶ 保護材厚さ5～10mm用



❷ 保護材無し～厚さ3mm用



10. 5　給水用貫通スリーブの施工手順

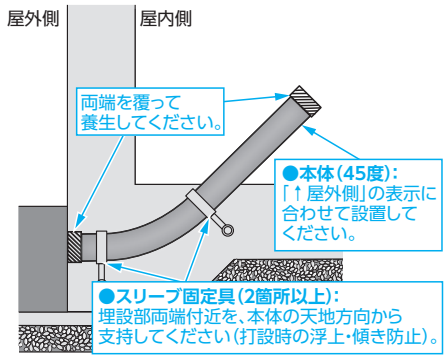
詳しくは「給水用貫通スリーブ標準施工法説明書」をご参照ください。製品（本体）に表示のQRコードでダウンロードできます。

❶設置場所の決定、本体端部の養生

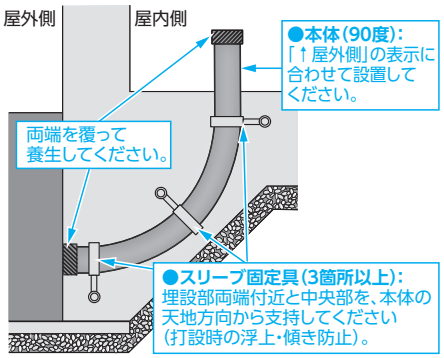
本体を仮配置して、スリーブ固定具の使用位置や基礎の仕上がり面を確認してください。
本体の長さが不足する場合は、VUソケットおよびVUパイプ（呼び径50）を接着して延長してください。

❷本体の支持・固定

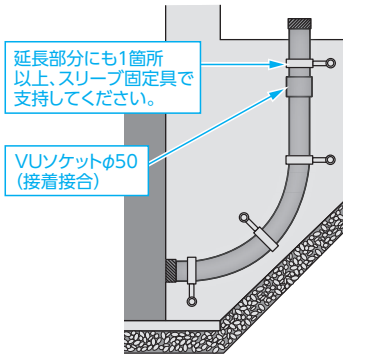
本体（45度）の支持例



本体（90度）の支持例

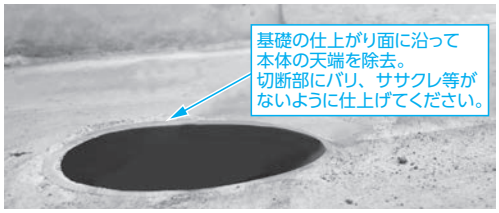


本体を延長した場合の支持例



❸コンクリート打設、端部の切断

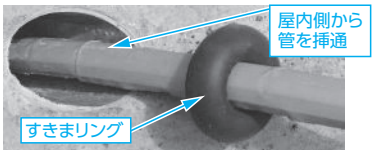
コンクリート硬化後、基礎の仕上がり面に沿って本体の天端を除去してください。



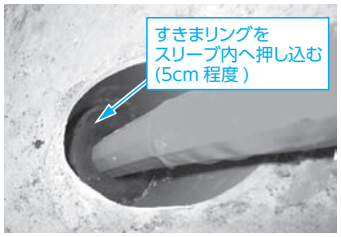
写真は加工しています。

❹管の挿通、すきまリングの取り付け

・管にすきまリングを通し、挿通時に干渉しない位置まで移動させてください。
・本体両端部の養生を除去し、本体の屋内側から管を挿通させてください。



すきまリングを本体の屋内側端部から5cm程度まで押し込んでください。



写真は加工しています。

10. 6　給水用貫通スリーブの施工写真（例）

写真は加工しています。

10. 7　給水用貫通スリーブのご使用上の注意事項

① 本体の中にゴミを入れないでください。管の挿通が適切に行えません。
① 給水管の貫通スリーブ以外の用途には使用しないでください。給·排水管としては使用できません。
⚠ 怪我の恐れがありますので、管を挿通する際には、指などを挟まないように注意してください。
⚠ 更新や補修で管を引抜く際は、急激に力を加えずゆっくり引抜き、転倒しないように注意してください。
⃠ 夏期の車内や炎天下の路上などの高温となる場所に本製品を放置しないでください。変形する恐れがあります。
⃠ 高温となる急結タイプのコンクリートを使用しないでください。変形する恐れがあります。

11. 宅地ます関連製品の品揃え（詳しくは製品別カタログ(COO)をご参照ください。）

11. 1　小口径ます用化粧蓋LKハット

軽量・コンパクトな樹脂製化粧蓋で、エクステリアをスッキリ美しく!

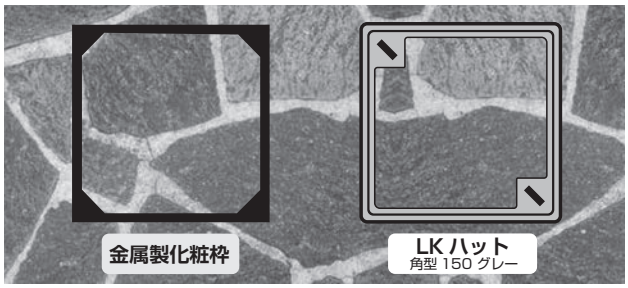
LKハットは、戸建住宅の庭や集合住宅等の外構に設置される汚水／雨水ます用の蓋の表面を周りの化粧材と同じにできる樹脂製の化粧蓋です。蓋の色は、グレーとココアブラウンの2色をご用意しています。

特　長

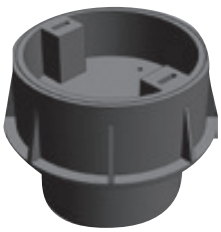
●景観の維持
- 蓋表面に周りと同じ化粧材が使用可能。
- 路面に露出する枠部は、2形状×2色から選択可能。
- 材質は耐食性に優れた硬質ポリ塩化ビニル。

●施工性の向上
- 軽量・コンパクトで取扱いが容易。
- ますからの立上り管に接続する構造で、路面とのレベル合わせが簡単。

景観比較イメージ

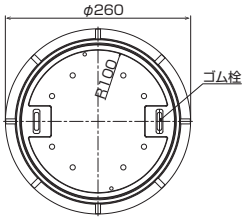


LKハット/丸型150　品番5885

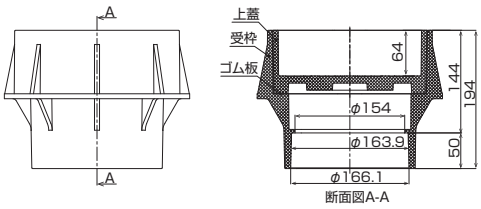


グレー

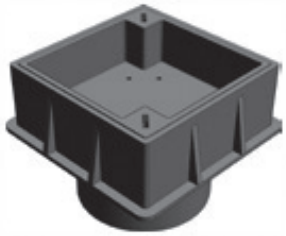
ココアブラウン



■耐荷重：T-2
■材　質
上蓋：硬質ポリ塩化ビニル
受枠：硬質ポリ塩化ビニル
〈付属品〉
ゴム栓(開閉穴用2個)　：EPDM
ゴム板(底面貼付用4枚)：CR

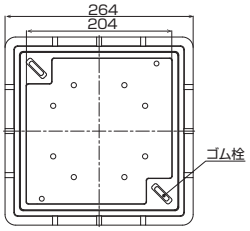


LKハット/角型150　品番5885

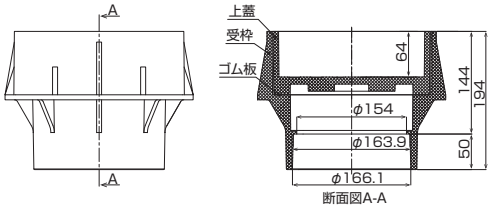


グレー

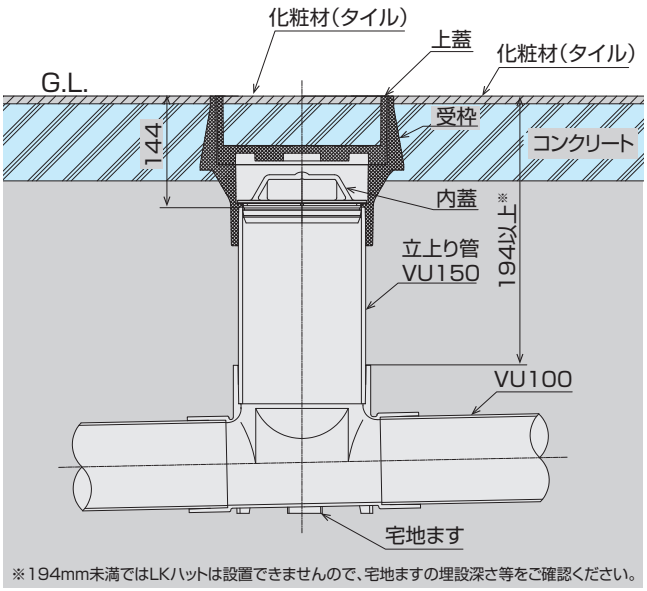
ココアブラウン

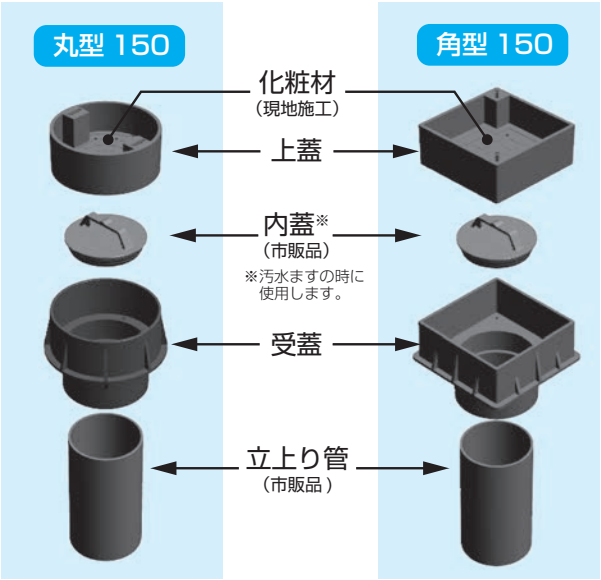


■耐荷重：T-2
■材　質
上蓋：硬質ポリ塩化ビニル
受枠：硬質ポリ塩化ビニル
〈付属品〉
ゴム栓(開閉穴用2個)　：EPDM
ゴム板(底面貼付用4枚)：CR



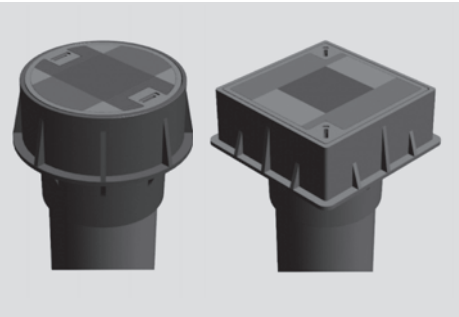
配 管 例



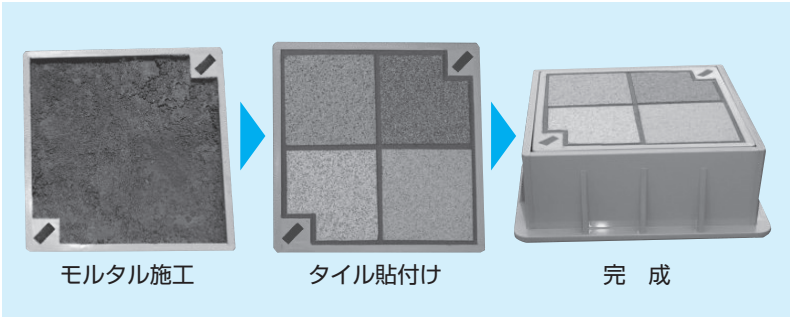


化 粧 例

化粧材：インターロッキング



化粧材：タイル



注意事項

1. 本製品に化粧材、内蓋、立上り管は含まれていません。化粧材は現地調達・現地施工となります。
2. 施工に際しては、「LK ハット(化粧蓋)標準施工方法説明書」を遵守してください。
3. 安全にご使用いただくために下記の事項をお守りください。

- ❗ 本製品の設計荷重は、T－2(総重量2トン)以下です。歩道、車道には使用できません。
- ❗ 本体の中にゴミを入れないでください。内蓋の止水が適切にできなく、上蓋のがたつきの原因になります。
- ❗ 小口径ます用以外の用途には使用しないでください。
- ⚠ けがの恐れがありますので、上蓋をセットする際には、指などを挟まないように注意してください。
- ⚠ 化粧材を入れた蓋は、重量物となりますので、取扱いに注意してください。
- ⃠ 車内や炎天下の路上などの高温となる場所に本製品を放置しないでください。変形する恐れがあります。

12. 使用上の注意事項

ここでは、クボタケミックス製品の性能を十分に発揮させるために、注意すべき事柄や禁止事項[illegible]項目別に説明しています。
各種管材を適切かつ安全に使用するためにも、一度よくお読みになり、必要のつど安全マニュアルとしてご活用ください。

●お守りください。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
- ⃠ 行ってはいけない「禁止」の内容です。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

製品の使用に関する注意点

現場焼却の禁止
塩ビ管・継手は、現場焼却しないでください。有害な塩素ガスが発生し、たいへん危険です。

他用途への使用は禁止
屋内排水用途以外には使用しないでください。

法令に従った処理を
塩ビ管・継手の残材や使用後の廃材の処分は、法令および地方自治体の条例にしたがって行ってください。また、残材や廃材はハンマーなどで砕かないでください。破片が飛散し危険です。

施工上の注意点

施工にあたっては、作業の安全性と配管としての性能を確保するために、当社の推奨する標準施工法にしたがって施工してください。施工条件などにより、これにしたがえない場合は、当社にお問い合せください。

継手の保管
継手の保管も管と同様に屋内保管とし、やむをえず屋外保管する場合は、シートを掛けて保護してください。とくにゴム輪製品については、直射日光が当たるとゴム輪が劣化するので、必ず覆いを掛けてください。

有機薬品に注意
塩ビ管・継手は、有機薬品に対して材質的に侵される恐れがあります。クレオソート(材木用防腐剤)、白アリ駆除剤、殺虫剤、塗料に接触させないでください。また、可塑剤入りの被覆電線・被覆支持金物・ビニルテープ・粘着テープなどは直接製品に触れないように施工してください。

適切な工具の使用
正しい施工と安全のために、切断・接合などの作業に用いる工具は、適切な仕様品を選択してください。また、それぞれの取扱説明書の内容を充分理解した上で使用してください。

接着接合後の換気
接着接合時は、接合後の管路内の換気を充分行ってください。接合後、管路を密閉状態にすると、ソルベントクラッキングという接着剤中の残存溶剤蒸気によって塩ビ管に小さな亀裂が発生し、漏水の原因になります。とくに冬季配管時は溶剤が蒸発しにくく残存しやすいので、ご注意ください。

塩ビ管用接着剤の取扱い上の注意点

他用途への使用は禁止
塩ビ管用接着剤や樹脂系接合剤は、塩ビ管・継手の接合用として開発されたものです。他の用途に流用しないでください。

接着剤の使い分け
接着剤には一般材質用とHI材質用とがあり、各々の管ならびに継手の接合強度が適切になるよう配慮されています。したがって、その管の材質に適合する接着剤を使い分ける必要があります。

目に入ったら
誤って目に入った場合は、こすったりしないですみやかに医師の診断を受けてください。

保管は法令に従って
接着剤は消防法の危険物に該当します。保管にあたっては法令および市町村条例を守ってください。

換気・火気に注意
有機系溶剤による中毒と火災を防止するために、作業現場では換気に注意し、火気をさけてください。

手袋の着用を
かぶれ・ただれを防ぐために手袋を着用し、直接皮膚に触れないように注意してください。万一皮膚に触れた場合は、すみやかに石鹸と水で洗い落としてください。

手洗いとうがい
使用後は、手洗いとうがいを充分に行ってください。

火気をさけて冷暗所に
接着剤には有機溶剤が含まれています。使用後は、缶のふたをしっかり閉め、火気をさけて屋内の冷暗所に保管してください。

古くなったら使わない
古くなって固まりかけたり、溶剤特有のにおいがしない接着剤は、接着効果がなくなっている可能性がありますので使用しないでください。また、接着剤をシンナーなどでうすめて使用することはさけてください。接着効果が低下し、配管の抜けや漏水の原因になります。

混ぜて使用することは厳禁
異なる種類の接着剤と混ぜて使用した場合、接着効果が著しく低下します。

Ⅱ. 貯水機能付防災ヘッダー『貯めてるゾー』

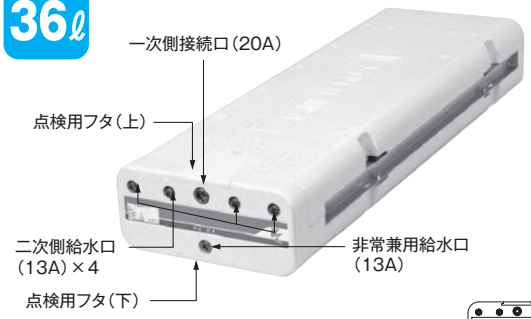
1. 製品仕様

貯めてるゾー　天井設置　36L用

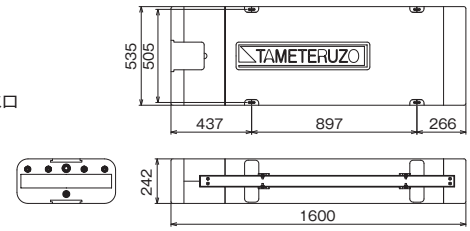
品番／略号：PEX用 8900-0036-8000／TD36PEX、PB用 8900-0036-9000／TD36PB

36ℓ

●型式：EWS150-2-36-IH



単位：mm



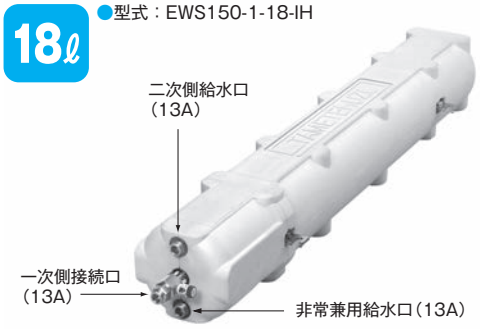
標準貯水量	36リットル
対応管種	PEXまたはPB
参考質量	40kg（単体）、80kg（使用時）
給水口径	一次側接続口20A × 1口 二次側給水口13A × 4口 非常兼用給水口13A × 1口
継手仕様	ワンタッチ継手
同梱品	なし

貯めてるゾー　天井設置　18L用

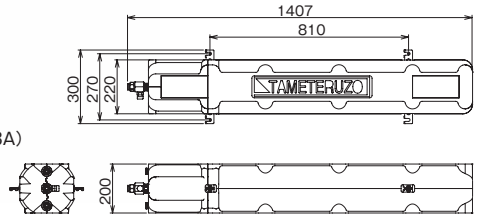
品番／略号：PEX･PB兼用8900-0018-0000／TD18

18ℓ

●型式：EWS150-1-18-IH



単位：mm



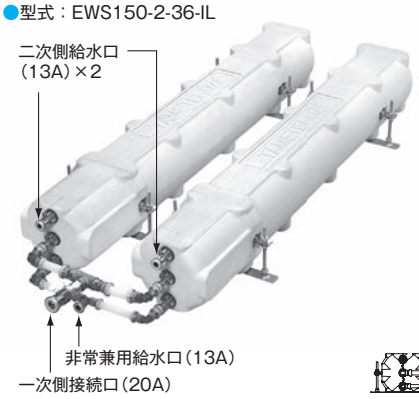
標準貯水量	18リットル
対応管種	PEX・PB兼用
参考質量	14kg（単体）、34kg（使用時）
給水口径	一次側接続口13A × 1口 二次側給水口13A × 1口 非常兼用給水口13A × 1口
継手仕様	クイックファスナー対応受口 ※ワンタッチ継手は別売
同梱品	クイックファスナー3ケ

貯めてるゾー　床下設置断熱有　36L用

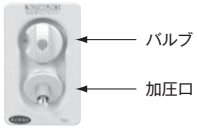
品番／略号：PEX用 8900-0036-8001／YD36PEX PB用8900-0036-9001／YD36PB

36ℓ

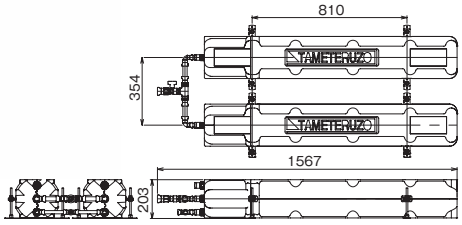
●型式：EWS150-2-36-IL



加圧用コンセント
（逆止弁なし）
※備蓄水の取り出しには別売りの非常用加圧キットが必要です。



単位：mm



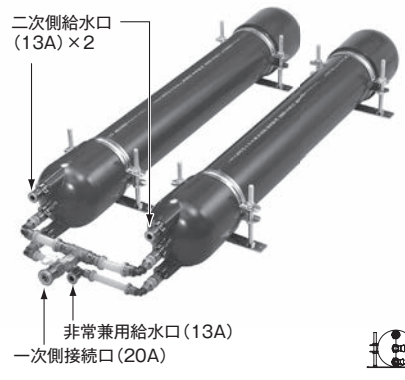
標準貯水量	36リットル
対応管種	PEXまたはPB
参考質量	30kg（単体）、 70kg（使用時）
給水口径	一次側接続口20A × 1口 二次側給水口13A × 2口 非常兼用給水口13A × 1口
継手仕様	ワンタッチ継手
同梱品	加圧用コンセント （タブチ製SC1100N 専用印字品） クイックファスナーおよび ワンタッチ継手

貯めてるゾー　床下設置断熱無　36L用

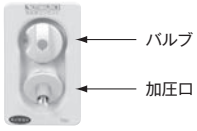
品番／略号：PEX用8900-0036-8002／Y36PEX PB用8900-0036-9002／Y36PB

36ℓ

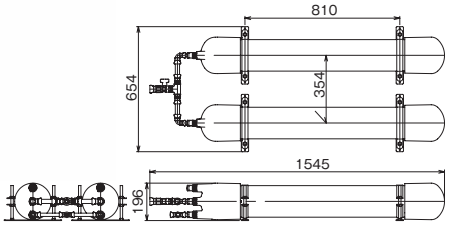
●型式：EWS150-2-36-IL



加圧用コンセント
（逆止弁なし）
※備蓄水の取り出しには別売りの非常用加圧キットが必要です。



単位：mm



標準貯水量	36リットル
対応管種	PEXまたはPB
参考質量	29kg（単体）、 69kg（使用時）
給水口径	一次側接続口20A × 1口 二次側給水口13A × 2口 非常兼用給水口13A × 1口
継手仕様	ワンタッチ継手
同梱品	加圧用コンセント （タブチ製SC1100N 専用印字品） クイックファスナーおよび ワンタッチ継手

貯めてるゾー　床下設置断熱有　18L用

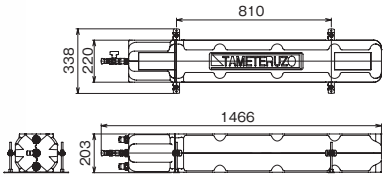
品番／略号：PEX･PB兼用 8900-0018-0001／YD18

18ℓ

●型式：EWS150-1-18-IL

加圧用コンセント
（逆止弁なし）
※備蓄水の取り出しには別売りの非常用加圧キットが必要です。

単位：mm



標準貯水量	18リットル
対応管種	PEX・PB兼用
参考質量	15kg（単体）、 35kg（使用時）
給水口径	一次側接続口13A × 1口 二次側給水口13A × 1口 非常兼用給水口13A × 1口
継手仕様	ワンタッチ継手
同梱品	加圧用コンセント （タブチ製SC1100N 専用印字品） クイックファスナーおよび ワンタッチ継手

貯めてるゾー　床下設置断熱無　18L用

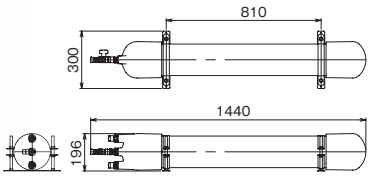
品番／略号：PEX･PB兼用 8900-0018-0002／Y18

18ℓ

●型式：EWS150-1-18-IL

加圧用コンセント
（逆止弁なし）
※備蓄水の取り出しには別売りの非常用加圧キットが必要です。

単位：mm



標準貯水量	18リットル
対応管種	PEX・PB兼用
参考質量	14kg（単体）、 34kg（使用時）
給水口径	一次側接続口13A × 1口 二次側給水口13A × 1口 非常兼用給水口13A × 1口
継手仕様	ワンタッチ継手
同梱品	加圧用コンセント （タブチ製SC1100N 専用印字品） クイックファスナーおよび ワンタッチ継手

2. 別売品

適用品種	品　名	品　番	同梱品・備考
貯めてるゾー 天井設置 36L	貯めてるゾー 36L 木造住宅用固定金具	8901-0000-0001	本体用ブラケット2本、専用取付金具4個、M12コーチボルト4本、M10ボルト8本、M10ナット8個、M10スプリングワッシャ 8枚
	貯めてるゾー 36L RC 造住宅用固定金具	8901-0000-0002	型紙1枚、W3/8全ねじボルト4本、W3/8ワッシャ4枚、W3/8スプリングワッシャ4枚、W3/8ナット8個、めねじアンカー4本、スペーサー4個
貯めてるゾー 天井設置 18L	貯めてるゾー 18L 木造住宅用固定金具	8901-0018-0001	本体用ブラケット2本、M12コーチボルト4本、M10ボルト4本、M10ナット4個、M10スプリングワッシャ8枚、M10ワッシャ12枚、M10高ナット4本
	Jワンクイック２クイックジョイント （JOQ2-QJ）	8614-0013-0000	継手本体
貯めてるゾー 床下設置 全６品種	貯めてるゾー 非常用加圧キット	8901-0000-0003	非常用加圧キット （透明ケース、フットポンプ、 専用ホース、ポンプ用マット） ※備蓄水の取り出しに必要です ※フットポンプは大橋産業（株）製です
	貯めてるゾー 加圧用コンセント分岐継手	8901-0000-0004	継手本体 逆止弁付 ボールバルブ ※加圧用コンセントを洗濯水栓と兼用する場合は使用しません
	Jワンクイック２ めねじ付ソケット 13A RC½	8631-0013-0000	加圧用コンセントとの接続用

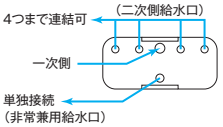
3. 設計上の注意事項

お守りください。お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

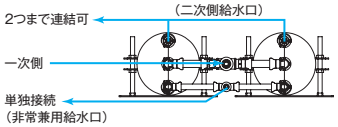
⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。　🚫 行ってはいけない「禁止」の内容です。　❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

- 🚫 給水用途以外の給湯用途には使用しないでください。
- ⚠ 36Lタイプ使用時には、所轄の水道局（水道事業管理者）との契約口径が20mm以上であることを確認してください。
- ❗ 設置場所が貯めてるゾーの重量（貯水時）に耐えうる構造･支持強度を有していることを確認してください。
- ❗ 配管接続部を維持管理できるように点検口を設置してください。
- ❗ 給水圧力は200kPa以上を確保してください。
- ❗ 寒冷地では貯めてるゾーが凍結しないよう水抜き配管を設置するなどの対策を行ってください。
- ❗ 同梱の加圧用コンセント以外の水栓を使用する場合は、逆止弁が内蔵されていない寒冷地仕様の洗濯水栓を選定してください。ただし、洗濯用混合水栓は寒冷地用でも逆止弁が内蔵されているものがあるので加圧用コンセントとしては使用しないでください。
- ❗ 加圧用コンセントは①加圧専用に壁等に設置（加圧用コンセント分岐継手を使用）する場合、②洗濯水栓と兼用する場合の2通りの設置方法があります。詳細は製品に同梱している工事説明書をご覧ください。
- ❗ 床下設置用を設置した際には、備蓄水の取り出し用に非常用加圧キットを購入してください。
- ❗ 非常兼用給水口は単独で水栓と接続してください。二次側給水口はすべて水栓に接続してください。36Lタイプで水栓の数が足りない場合は給水管を連結して水栓に接続してください。（右図参照）
- 🚫 給水口のキャップ止めはしないでください。（右図参照）

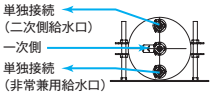
■ 天井設置36Lタイプ



■ 床下設置36Lタイプ



■ 天井設置･床下設置18Lタイプ



※すべてのタイプで給水口のキャップ止め不可

4. 使用上の注意事項

お守りください。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
🚫 行ってはいけない「禁止」の内容です。
❗ 必ず実行していただく「強制」の内容です。

運搬・保管時

●運搬上の注意点

❗ 作業時は、けが防止のために、必ずすべりにくいゴム引き手袋を着用してください。

⚠ 本体は重量物です。取扱いには十分注意してください。また、本体前後の重量バランスが異なりますのでご注意ください。

⚠ 衝撃を与えないようにしてください。特に、2人で運搬する際や荷台からおろす際に、片方の端を落とさないよう注意してください。破損の原因となります。

🚫 トラックへの積み込み、積み降ろし時は、本製品を投げ込んだりしないでください。本製品の破損防止、けが防止のためにていねいに扱ってください。

🚫 本製品の上には乗らないでください。

●保管上の注意点

⚠ 保管は水に濡れないように屋内保管とし、製品の変形などを防止するために、平積み（最大3個）で保管してください。

⚠ 重量物ですので、安定した場所に転倒防止策を施して保管してください。

施工時

❗ 本製品に同梱している「工事説明書」に記載しておりますので、工事開始前に必ずお読みください。

⚠ 設置後に動作確認する際には、洗濯水栓を含むすべての水栓から水を出して、貯めてるゾーが満水であることを確認してください。

通常使用時

本商品は、万一の災害に備え常に36ℓ（18ℓ）の飲料水を備蓄しておく装置です。備蓄水は、日常生活で水を使用することにより、新しい水に入替わる仕組みとなっています。通常は特別な操作は必要ありませんが、以下の事項にご注意ください。

⚠ 本製品が設置されている場所によっては、備蓄水の水温が上昇（あるいは降下）することがあります。しばらく使用しても水温が安定しない場合は、弊社までご連絡ください。

❗ 4日間以上水を使用しない場合は、備蓄水の水質が低下している恐れがありますので、使用を再開する際は、相当水量を飲用以外でご使用ください。（36Lの場合=200ℓ、18Lの場合=80ℓ）

❗ 水質検査を実施される場合は、原則、水道局の検査方法に従うと共に、本製品を設置している旨を検査員に伝えてください。（使用中であっても30ℓ程度の水を流出させてから水質検査を行うのが一般的です。）

❗ ご使用中、水の異臭や味の変化など、異常を感じた場合は使用を直ちに中止し、弊社までご連絡ください。

🚫 貯めてるゾーを凍結させないでください。

❗ 加圧用コンセントは逆止弁がついていないので、使用しない時は必ずバルブを閉めてください。

災害等断水時

天井設置・床下設置用共通

❗ 断水後4日間以上経過した備蓄水を飲用する場合は、備蓄水の水質低下の恐れがありますので、沸騰させてからご使用ください。

⚠ 通水再開時、勢いよく水がでることがありますので注意してください。

⚠ 通水再開時には、各水栓から空気がでる音（ボコボコ音）の発生や、水の出が不安定な状態になることがありますが、しばらくすると正常な状態に戻ります。故障ではありません。

天井設置用

⚠ 水道が停止した場合、非常兼用給水栓のみ通常通り開栓すれば、備蓄水が取出せます。水栓を開栓したままにすると備蓄水が流出してしまいますので、注意してください。

⚠ 非常兼用給水栓以外の水栓が開いていても備蓄水が流出することはありませんが、開栓したままですと通水が再開された際に、水が流出して思わぬ事故につながる恐れがありますので注意してください。

⚠ 非常兼用給水栓からの水の出が悪い場合は、洗面など他の水栓を開くことで水の出が良くなることがあります。ただし、通水再開に備えて水栓を開いたままにしないよう注意してください。

床下設置用

❗ 専用ホースを接続する前には必ず貯めてるゾーに接続した水栓を開けて管内圧力を開放してください。圧力が残ったまま専用ホースを接続すると水が逆流して水が流出する恐れがあります。

❗ ポンプまたは専用ホースを取り外す前には必ず非常兼用給水栓を開けて水が止まることを確認してください。圧力が残ったままポンプまたは専用ホースを外すとホースが勢いよく外れて、思わぬ怪我をする恐れがあります。

❗ 使用後は必ず加圧用コンセントのバルブを閉めて、専用ホースとフットポンプを取り外してください。給水が復旧した場合に多量の水が流出する恐れがあります。

⚠ 非常兼用給水栓は開けたままにしないでください。給水が復旧した場合に多量の水が流出する恐れがあります。

⚠ 非常兼用以外の水栓は閉めてください。加圧取り出しができません。また、給水が復旧した場合に多量の水が流出する恐れがあります。

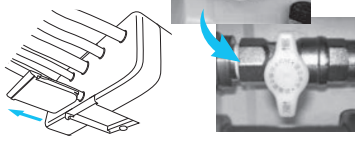
維持管理

●天井設置用

本体への給水を停止する場合（36Lタイプ）

図の様に本体下の点検用フタ（下）をはずし、開閉制御弁を「閉」にしてください。

⚠ 点検カバーなど、本体はスチレンフォーム（発泡スチロール）製ですので、損傷しないよう開閉の際はていねいに取り扱ってください。

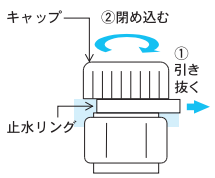


本体への給水を停止する場合（18Lタイプ）

水道の元栓を閉めてください。

吸気弁から漏水した場合の応急処置

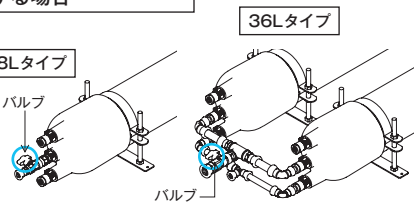
本体下の点検用フタ（下）をあけて、吸気弁の止水リングを引き抜きキャップを回して漏水を止めてください。



●床下設置用

本体への給水を停止する場合

元栓を閉めるか、貯めてるゾーの一次側のバルブを閉めてください。



株式会社クボタケミックス

本　　社 〒661-8567 尼崎市浜一丁目1番1号 ☎(06)6470-5970
東京本社 〒104-8307 東京都中央区京橋二丁目1番3号 ☎(03)3245-3085
北海道支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番54 ☎(011)214-6291
東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目6番1号 ☎(022)267-8955
中部支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号 ☎(052)564-5145
中四国支店 〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目5番7号 ☎(082)207-0596
九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号 ☎(092)473-2453
北陸営業所 〒920-0022 金沢市北安江一丁目11番7号 ☎(076)223-2520
四国営業所 〒760-0050 高松市亀井町2番地1 ☎(087)836-3908
沖縄営業所 〒900-0016 那覇市前島三丁目1番15号 ☎(098)860-7115

■詳しくは
ホームページ 製品情報／トピックス／電子カタログ閲覧／資料ダウンロード／Q&A／季刊誌「PAL」
https://www.kubota-chemix.co.jp

※当カタログに記載の内容は、製品改良のため予告なく変更することがあります。
　また許容差のない数値は標準値とします。
※製品写真の色は印刷のため、実際とは若干異なります。

No.D00-24 (05.3.05.)
23.4.4.6. IN. NP